

第1学年技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

時間・場所 公開授業③ 被服室

学 級 1年1組 33名（男子14名，女子19名）

指 導 者 阿部 和

1 題材名 自分らしく着る・快適に着る「環境に配慮した衣生活」

2 題材について

生徒たちは、自分で衣服の選択をするようになってきているものの実際に衣生活に関わる場面は少なく、環境との関わりを考慮しながら衣生活を考えていこうという視点はほとんど持っていない。

衣生活を一連のサイクルと捉え、環境に配慮した衣生活について考える視点を持ち、実践していくための力をつけることは、自立した衣生活を送るためには必要なことだと考える。題材は、衣生活に関する基本的な知識と技能を習得し、それらの学習をもとに環境に配慮した衣生活の在り方について考え、実践につなげていくことをねらいとしている。

授業においては、衣生活のサイクルを意識しながら、衣生活と社会生活との関わり、衣服の計画的な活用や適切な選択、日常着の手入れなどについて学習する。題材の最後には、「環境」という視点で衣生活を見直し、実践化が図られるようにしていきたい。

3 題材の目標と評価規準

(1) 題材の目標

- ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択をすることができる。
- ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて適切に理解することができる。
- ・衣服に関心を持ち、自分や家族の衣生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した衣生活という視点から課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに工夫することができる。

(2) 題材の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わりに関心をもち、時・場所・場合に応じた衣服を着用しようとしている。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れに関心をもち、手入れや補修の課題に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた衣服の適切な選択について、収集・整理した情報を活用しながら、着用や個性を生かす着用について考え、工夫している。 ・衣服の材料や状態に応じた洗濯や補修について考え工夫している。 ・自分や家族の衣生活を環境という視点から課題を見つけ、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の材料や汚れ方に応じた手入れの方法を選択することができる。 ・補修の目的と布地に適した方法で衣服を補修することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の計画的な活用の必要性や既製服の表示と選択にあたっての留意事項について理解している。 ・衣服の手入れの必要性や洗濯の方法と要点について理解している。

4 指導計画（総時数10時間）

小題材名	時間	主な学習
自分らしく目的に合う着方	1	コーディネートのポイントを知り TPO に合わせた自分らしいコーディネートを考える。
衣服の働き	1	衣服の社会生活上の働きを考える。
衣服の構成	2	ゆかたの着付けをし、和服と洋服の違いを考える。
衣服の活用と選び方	1	既製服の表示の読み取り方、既製服の選び方について知る。
衣服の汚れと手入れ	4	取扱い絵表示の読み取り方、洗濯の仕方、アイロンのかけ方、収納、保管について理解し実践する。
環境に配慮した衣生活	1	衣生活と環境との関わりを考え、どういう行動をしていけばよいか意見交流をして今後の実践につなげていく。【本時】

5 本時の指導（10 / 10）

（1）目標

自分や家族の衣生活について、環境に配慮した衣生活という視点から課題を見つけ、その解決を目指した工夫ある取り組みを考える。

（2）「振り返り」の工夫

- ・これまでの学習を振り返り課題解決の見通しを持たせる。
- ・本時の授業を通して「これからの行動について考えたこと」「新たな視点として加わったこと」「他の意見を聞いて感じたこと」などについて自分の言葉で記述させ、グループで共有することで学びを価値づける。

（3）展開

段階	学習活動	指導上の留意点と評価（ <input type="checkbox"/> ）
導入 5分	1 前時までの復習をする。 2 課題を把握する。	1 着用, 入手, 手入れなどについて学習してきた内容を確認する。衣生活のサイクルも確認する。 2 環境問題について知っていることを聞き課題を示す。
	環境という視点から、よりよい衣生活のために工夫できることを考えよう	
展開 35分	3 衣生活と環境のかかわりを考える際、3つの視点があることを理解する。 4 生活排水の汚れ具合の資料から、視点の持ち方と考え方について理解する。 5 衣生活のサイクルの各場面でどのような行動が考えられるか、自分の考えをまとめる。 6 グループで自分の考えを説明しあい、考えをまとめる。 7 各グループの考えを発表し合う。 8 各グループから出された考えを参考に、自分が衣生活の中で実践していきたいことを文章にまとめる。 9 学習課題について振り返り本時のまとめを確認する。	3 考える視点を明らかにする。 ・省エネルギーを目指す。 ・環境への影響を少なくする。 ・資源（衣服）を大切にすること。 4 洗剤の適量を守ることは、汚れ落ちや経済面を考慮しても適切な行動であることを確認し、根拠をもって説明できるようにする。 5 3つの視点から考えた場合、自分の衣生活でできそうなことをプリントに記入させる。 6 発表用シートに書かせ、発表準備をするように指示する。 7 各グループの考えた行動に対する評価コメントを入れてその行動が有効であるかを考えられるように進める。 8 どの場面のどんな行動なのか、根拠をまとめるように指示する。
	自分や家族の衣生活について、環境に配慮した衣生活という視点から課題を見つけ、その解決を目指した工夫ある取り組みを考える【記述】	
終末 10分	10 本時の振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活と環境問題は関係ないと思ったが入手の仕方や洗剤の量に気をつけることで環境により衣生活送れると思った。家族に任せていたが、環境のことを考えていきたい。 ・半そでハーフパンツで過ごすことは、涼しいだけでなく環境のためになるし、経済的にもいいことであると知ったので、工夫しながら過ごしたい。（第Ⅲ型）